

【考え・基礎知識・技能】

幼児の発達と家族の役割について理解している。

【つながり】

製作した幼児の遊び道具を用いた幼児との触れ合い体験を通して、幼児とのかかわり方について考えたり工夫したりすることができる。

【応用・ひろがり】

家庭生活の中で、幼児の発達と家族の役割についての課題を見つけ、解決策を提案することができる。

◇ 学年 第3学年

◇ 題材名 幼児と触れ合おう ～自分たちが作った遊び道具を通して～

◇ 題材の目標 製作した幼児の遊び道具を用いた幼児との触れ合い体験を通して、幼児に関心を持ち、幼児の心身の発達や遊びの意義について理解し、幼児とのかかわり方を工夫することができる。

時	主な学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児と触れ合うことについてのアンケート結果を基に、幼児への接し方について考える。 ・昨年度先輩たちの触れ合い体験の写真やVTRを見て「幼児との触れ合いは、おもしろそうだ、楽しそうだ、かわいいな」「私も幼児と遊んでみたい」という気持ちをもつ。 ※長期休業中に家庭で遊び道具の製作をする。 ・幼児の遊び道具を通して、発達の状況に応じたかかわり方を考える。→ 本時
2・3	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児と触れ合う活動を行う。(触れ合い体験①)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児と触れ合う活動を踏まえて、自分がそれまでもっていた幼児のイメージとのずれや気づき、上手くかかわることができた点、上手くかかわれなかった点などを出し合い、幼児とのかかわり方について、新たな課題を設定する。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の幼児と触れ合う活動に向けて、一回目の触れ合い体験の反省を踏まえ、発達の状況に応じた幼児の遊び道具を用いたかかわり方を考える。
6・7	<ul style="list-style-type: none"> ・相手意識や目的意識を明確にした幼児の遊び道具の製作などをする。 ・製作した遊び道具を使っての遊び方を考え、様々な場面を想定して、幼児とのかかわり方を考え、グループで様々なかかわり方を話し合う。
8・9	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児と触れ合う活動を行う。(触れ合い体験②)
10	<ul style="list-style-type: none"> ・触れ合い体験について振り返り、交流を通して体験の相互評価を行い新たな課題をもつ。

一回目の幼児との触れ合い体験では、上手くかかわることができず、困り感を持ち、幼児とのかかわり方の課題意識が一層強くなると考えられる。

自分たちと先輩たちの触れ合い体験の様子(VTR)を比較することで、先輩たちの様子から幼児とのかかわり方のポイントを見つけ工夫しようとするようになる。また、より「先輩のように上手く幼児とかかわりたい」という先輩に対する「あこがれ」の気持ちをもつようになると考えられる。

保育者の幼児への対応の様子(VTR)を見ることで、課題解決のために幼児とのかかわり方のポイントを見つけ工夫しようとするようになる。

◇ 本時の目標 幼児との触れ合い体験に向けて、自分なりに課題を設定し、自分が製作した遊び道具を用いたかかわり方を工夫することができる。

◇ 学習の流れ(1時間目/全10時間)

学習活動	指導上の留意事項(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 課題を確認する。 ・既習事項の確認をする。 ・昨年度先輩たちの触れ合い体験の写真を見る。	◇幼児との触れ合い体験で、製作したおもちゃを用いて工夫しながら幼児と触れ合っている姿の写真やVTRを見ることで、「先輩のように楽しく幼児とかかわりたい」という気持ちを高めさせる。	先輩たちの触れ合い体験の写真を見て、「どうすれば楽しく、上手く幼児とかかわることができるのだろうか」という課題意識をもつことができる。
課題 どうすれば楽しく、上手く幼児とかかわることができるのだろうか。		
めあて 幼児との触れ合い体験において、自分の課題を見つけ、課題を解決するために、幼児とどうかわっていくかについて、計画を立てることができる。		
2 課題を解決するために、自分が製作した遊び道具を用いて幼児とどうかわるか考える。	◇自分の遊び道具を使って触れ合う方法を考えさせる。	思考ツールを用いて整理・分析を行う。 ・幼児の心身の発達に応じた幼児との遊び方、幼児とのかかわり方について課題を設定し、その解決を目指して、製作した遊び道具を用いた触れ合いの計画を自分なりに考え、工夫している。 (生活を工夫し創造する能力) (ワークシート)
3 班の中で、考えを伝え合う。	◇付箋を利用して、「良い点」「アドバイス」を記入し、意見を集約することで、自分が気付かなかった考えに気付かせるなど、考えを深めさせる。 ◆他の人からのアドバイスとかかわり方のポイントを確認するように助言する。	
4 計画の最終確認をする。 ・発表を聞いて気付いたことや疑問点をまとめる。		
生徒のまとめ例 幼児とあまりかかわったことがないため、幼児がどんなことをしているか少し観察をして、まず、「何をしているの?」「おもちゃで遊ぼうよ」などと、優しい表情で声をかけようと思います。次に、自分が製作した「手作り積み木」に興味をもってもらえるように、友だちからのアドバイスを生かして、もう少しカラフルにして、積み上げる楽しさを味わってもらおうと思います。		
5 本時を振り返り、次時につなげる。	◇本時で学んだことを、次時の幼児と触れ合う活動において、どう生かしていくかなど見通をもたせる。	